

(公社)福井県観光連盟の機能強化について

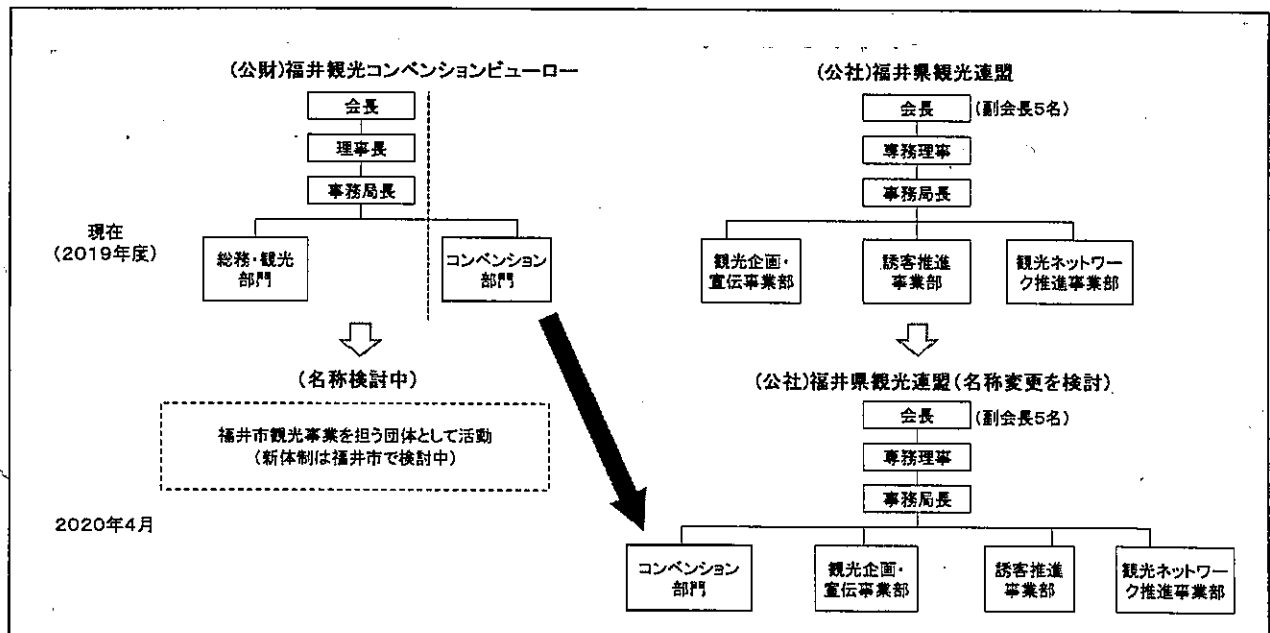
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県観光連盟を本県の観光地域づくりの中核を担う組織として機能強化し、本県の観光振興と誘客促進を図る。

1 コンベンション部門の新設

(1) 概要

コンベンションの開催は、交流人口の拡大や知名度の向上、集客による経済波及効果など、地域活性化に大きく貢献する。

(公財)福井観光コンベンションビューローから事業譲渡を受け、(公社)福井県観光連盟にコンベンション部門を新設し、県全体での誘致・営業体制を強化することで、さらなるコンベンション誘致を図る。



(2) 新設の時期

2020年4月1日

(3) 業務内容

誘致活動推進、開催助成金交付、歓迎支援、コンベンション開催調査等

2 県観光連盟の観光地域づくり法人(DMO)登録

(1) 概要

地域独自の資源を掘り起こし、それに付加価値を加えることにより、地域外からヒト・モノ・カネを集める、本県観光地域づくりの舵取り役として県観光連盟のDMO登録を行う。

(2) DMO登録スケジュール

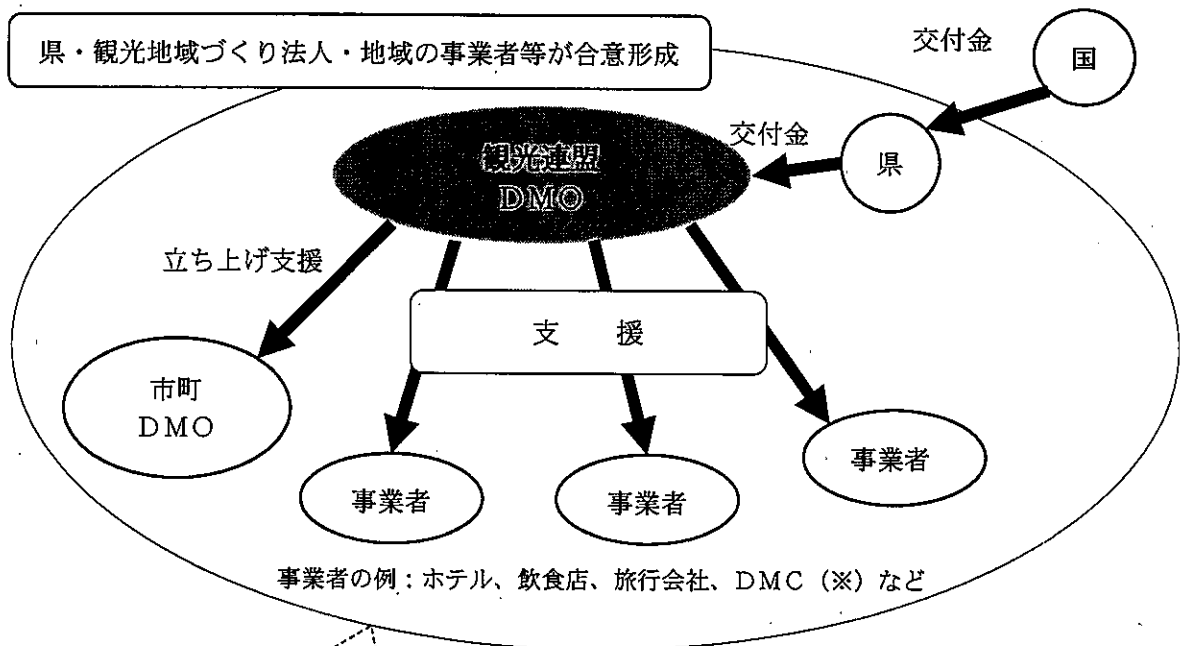
- ・2020年度 DMO候補法人への申請、登録
- ・2021年度以降 DMO法人への登録

観光地域づくり法人（DMO）登録のメリット

県観光連盟をDMO登録することにより、観光客数を増やすだけでなく、いかに県内で消費していただくかの視点を持った事業が展開できる。

- 地方創生交付金を活用し、観光マネジメントやマーケティングの専門人材の確保、マーケティング、国内外へのプロモーション、MICE誘致など幅広い事業展開が可能
- 地域との合意形成のうえで、地域を盛り上げようと頑張る民間事業者を支援することが可能

《DMOによる事業者支援のイメージ（案）》



※DMCとは：地域の潜在的観光資源をもとに、新たな観光商品を生み出す企業体

DMOによる支援内容（案）

- ・民間事業者との連携
（例）土産品開発、観光アプリ開発 など
- ・市町DMOの立ち上げ支援
- ・マーケティングデータの共有
- ・観光マネジメント専門人材による魅力的な観光地づくりの助言 など

観光地域づくり法人（DMO）登録要件および全国登録状況

1 DMO登録の要件（観光庁が登録）

- ①DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- ②データの継続的な収集、戦略の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立
- ③関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーションの実施
- ④法人格の取得、責任者の明確化、データ収集・分析等の専門人材の確保
- ⑤安定的な運営資金の確保

2 全国のDMO登録状況（令和元年9月現在）

	DMO法人	候補法人
広域連携DMO ＜都道府県連携＞	10件	—
地域連携DMO ＜県域、市町村連携＞	県域 24件 (うち連盟母体 23件) 市町村連携 45件	県域 5件 (すべて連盟母体) 市町村連携 30件
地域DMO ＜市町村域＞	57件	81件
総数	136件	116件

・都道府県単位での登録：29団体

北海道(*)、青森県(*)、秋田県、山形県、福島県(*)、茨城県(*)、
栃木県、群馬県(*)、埼玉県(*)、新潟県(*)、富山県(*)、石川県(*)、
山梨県(*)、長野県(*)、静岡県(*)、岐阜県、愛知県(*)、三重県(*)、
滋賀県(*)、大阪府(*)、兵庫県、奈良県(*)、山口県(*)、香川県(*)、
愛媛県(*)、熊本県(*)、大分県(*)、宮崎県(*)、沖縄県(*)

*はDMO法人(24団体)、印なしは候補法人(5団体)

・県内のDMO登録状況

① 株式会社まちづくり小浜

(DMO候補法人：H28.4、DMO法人：H29.11登録)

② 勝山市観光まちづくり株式会社

(DMO候補法人：H29.8登録)